

31H 上杉 優奈 32H 木屋 敬裕 33H 藤岡 真佑
 35H 長澤 和花 35H 加藤 唯々奈 36H 殿田 祐太

■課題

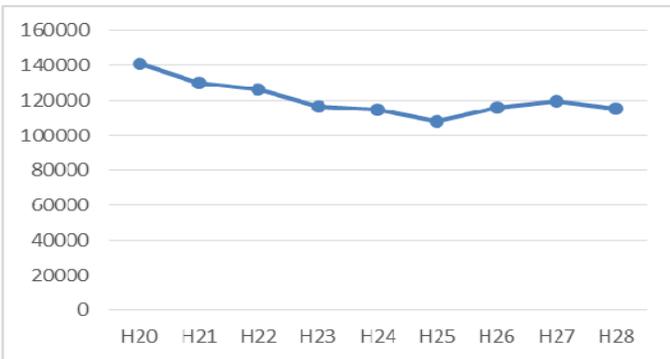
能登地方は交通費が高く交通の便が悪いため、若者が生活しにくい。

■解決策

バスの運行コストを下げる。

■現状（課題の背景）

①バス利用者の減少

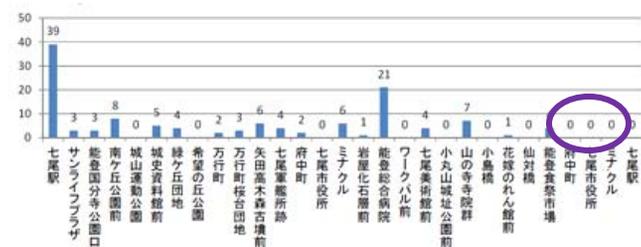


七尾市 バス利用者数 推移

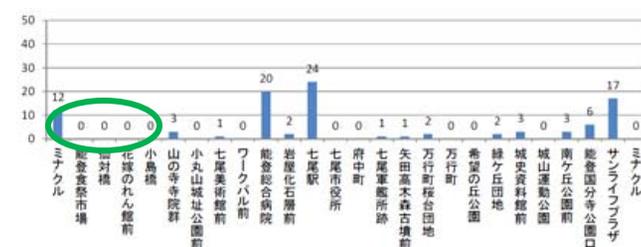
七尾市のバス利用者は年々減少してきている

②利用者が少ないバス停の存在

七尾市マリン号 路線図



七尾市 マリン号 一日あたりの平均乗車人数（順周り）



七尾市 マリン号 一日あたりの平均乗車人数（逆周り）

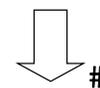
乗車人数0人のバス停が連続している地点がある

① ②の問題点はほかの都市でもよく見られる

■具体的内容

〈イーグルバス株式会社の例を参考にしたバス運営の効率化〉
 イーグルバス株式会社の例

…運行データに基づくダイヤやバスルートの設置



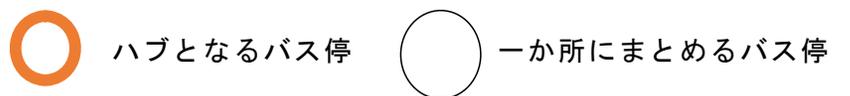
「ハブ&スポーク方式」を用いたバスルートの設置

「ハブ&スポーク方式」

…中心拠点（ハブ）に貨物を集約させ、拠点（スポーク）毎に仕分けて運搬する輸送方式

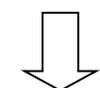


- 七尾市にハブとなるバスセンターを置く
- 密集したバス停を一か所にまとめる



■効果

運行距離が短く効率的なバスルートを作ることで運行コストを削減でき、様々な年齢層が利用しやすいバスが運行できる



交通費が安くなり、バスが利用しやすくなることによって過ごしやすい街が作れ、人口流出を抑制できる

■参考文献

「七尾市 公共交通の利用状況」
<https://www.city.nanao.lg.jp/kikakuzaisei/koukyoukoutuu/documents/nanao-moukeikaku03.pdf>